

號正更 磐城革新々報

毎月 廿二日 行
 定価 一ヶ月 十圓 廿二日 行
 送料 一ヶ月 四圓 廿二日 行
 印刷所 磐城革新々報社
 印刷人 鈴木清四郎

炭坑の春

清 園

一月といふ寒い月だけに今年馬鹿に温かいと云つてもなかく冷たい湯の嶽風ろしの雪の交つた寒風には思はず頸を引込ませられる。それでも燃料フンダンに山とある炭礦は一度室内に足を踏み入るとポヤポヤとした暖かさに戸外の事など一切忘れられて終ふシキも暖い家も今云ふた通りだ炭礦の冬など實際に此の點に於て尤も恵まれてゐる。今年には萩原礦主の奮闘と稼人等の一致協力お家大切と働いた事が酬えられて小田炭礦萩原礦業所の新春は馬鹿に景氣が良い。今しも礦業所の直下の家へ七八人の坑夫連と妻君連が同道して山街馳と云つてもピン／＼跳ねたような魚類を大皿に盛つて大きな茶舞臺へ所狭いまでになんだ彼だと並んだのをツキながら既に甘徳利を十二三本も集めて水入らずの兄弟分同志と見へての騒大ぎだ。一人が「朝の六時からカンテラ下げ」とイセイの良い所をやる一人は磯節、一人は都々逸陽氣なもんだ。其の内に一人がチャンとお座りをする

と「トローロは高砂の...」と、うたいの一曲を初めると後の連中が是れと調子を合せて「此の浦船に帆を上げて」と相當稽古の積んだ調子で熱心にやりだした。炭礦の稼人等として氣の早いせいもあらうが餘りコンナ面倒なものはやらない方が、皆んながみんな集つた連中が上手だからなんだか面白い。其の内に一曲のなかばが済むと其の内の一人がこんな事を云ひ出した。

「ドウデイ兄弟、巳等の聲量は大将ソツクリじやないか...」なんでも何日か大将が己れ等に此んな事を云つてたが、己ら感心しちまつて初まつたんだがナ...ソモ／＼と今度は容迄も正しく改まつてんでも大将がいふのはナ、此の「うたい」と云ふものは第一に人間の心持ちを落ちつがせる...第二には思ひ切つて聲量を使ふからだも丈夫になり、亦文句が立派だから覺える立派な事も出来る...と云つた。また、いらく教へてくれたが後は忘れつチャツたが、論より

磐城財界人物傳

常磐銀行平支店長中村梅三郎氏は水戸市の士族として義烈兩公の威風感化の生育を受継して人となつた丈けに一種犯すべからざる器儀の所有至である。水戸人主の典型的な氣質として十中の八九は軍人を含むが是非でも官界の人たらむとして進所する慣習の中に氏は方面を替へて財界の人たらむことに志した。

志す以上亦その堅志は動せず屈せず初終貫徹に浮進した結果意の趣く所その識見と手腕とを遺憾なく發揮す

平の名所(一)

花時の松ヶ岡公園
 松ヶ岡公園の風致と櫻花とは東北に於いて随一と謳はれてゐる。陽春の好期百花美を競ふて酒に浮かべ花に憧れるのとき萬山花に埋る、樹下浮世を外に終日花と語り愉快に薫酒を飲み交す場所として申分のない觀樂境地である。櫻樹は年一年と花を増し眼下に見る園池には眞鯉は浮れて跳ねるを見る。満山紅花の間而かも風致に富む綠葉は點々として風致の美を添へてゐる。而して觀櫻客歡迎の意味に於て平町の美妓連は相變らず花と艶を競ひつ、ヤンヤと觀客を喜ばせることであらふ。而かも終日働いて一日の遊山に美妓の嬌酌

に數金を傾くる決して惡ひ氣待でもなかるべし。

○平町藝妓組合
 ○平町料理組合

生徒募集
 婦人職業の必鍵
 一、無試験入學
 一、申込期日 四月八日迄
 一、一ヶ年卒業

平産婆看護婦學校
 校長 清野キヨ
 電話三〇七番

御上品お手軽料理
 きそば 青葉
 平町三丁目横

メリヤス、タビ
 洋品店 モリタヤ
 平町五丁目

平有名醫院案内
 内科外科(平町)電話三
 其他一般(大町)百五番
 難波醫院
 院長 醫學博士 難波睦

眼科
 吉田眼科醫院
 平町紺屋町

耳鼻咽喉
 増田醫院
 (平南町)

市原醫院
 (平田町)

平町田町
 高久病院

平著名商店案内
 釜屋金物店
 平町五丁目
 塩屋商店
 平才橋小路
 大一屋商店
 平町二丁目
 洋品店
 ツルヤ
 平町四丁目
 三井吳服店
 平町三丁目
 伊關吳服店
 平町一丁目
 西村藥店
 平町二丁目
 江川屋足袋店
 平町三丁目
 丸屋たび店
 平町一丁目
 マルトモ
 柴田書店
 平町四丁目
 マルトモ食堂
 なかや洋服店
 平町三丁目

常磐炭界の三傑

仁俠者 小田吉治氏

「艱難汝を玉にした」常磐炭礦界の王者小田吉治氏は英雄割腹時代の豊臣秀吉を以つて任ずる人であらふ今や百萬の巨富を積んで奢らす尙征偉志を懐いて尙大成に志し早朝霜に起きて夕は星を友として歸る大奮闘振りである。機を見ること敏なる氏は性格と堅忍不抜なる意志とは相俟つて今日

五十嵐炭礦不動澤礦業所長

高階一郎氏

一度笑ひば泣兒も懐き一度怒れば鬼神も恐れるとは此の人の如きを云ふか、氏は眞の熱情家であつた極めて正直な人である。その性格が五十嵐炭礦王との合致する唯一の美点であり亦満山より敬畏される所以となり多數の稼人より慈父として仕られてゐる所以である。眞に同炭礦の現在に實に立派過ぎる程立派であり營業振りである云ふべし、而して高階氏は尤も常磐炭礦界の古きよりの貢献者として模範とするに足る

て當に常磐地方のみならず全國的斯業界に周知されてゐる。一例として如何に用人よりの信頼厚かりしかを左に掲げする。

「氏が其以前、村會議員として大多數當選を得たこと、氏の爲め、死を賭して迄清き一票を投せんものと重忠を押して荷車に病軀を縛し付け投票後氏の爲めに萬歳を叫んで間もなく絶命した使役人があるといふ血涙美談もある」

杉山今朝吉氏

全國に於ける大村の一として知らるゝ大内郷村に帝國在郷軍人分會長として重望を擔ひ武士的氣質涵養に専念しつゝある杉山君は秋田縣出身の礦山業家として旭日昇天の隆昌を示しその經營する杉山八尺炭礦の名聲は日と共に向上の氣運に到達しつゝあり。剛直なる性

格の裡にも亦頗る温情に富む氏は且つて使役人中一人の不平者さい出た事なく全山一家の如き和中中に益々その能率の増進を示してゐる。宜なる哉氏は神乎人乎とま下呼ばれてゐる。敬信に生きつゝある君子人の意企が萬般の因をなしてゐる所以であるといはれてゐる

油商 關内正一

平町二丁目

石城郡町村長會

石城郡銀行組合

石城郡小學校長會

五十嵐炭礦

不動澤礦業所

所長 高階一郎

福島縣石城郡内郷村

杉山炭礦礦業所

礦主 杉山今朝吉

福島縣石城郡内郷村

(綴驛前) 迅速安全

薄葉自動車部

美麗貸切車あり

磐城無盡商會

平町大町

磐城建物株式會社

平町五丁目

片倉製糸株式會社

辰野賢造

映畫の殿堂

世界館

(平驛前)

館主 鈴木寅次郎

大谷時計店

平町三丁目

常磐屋時計店

平町一丁目

堅い品で安い店

永木タンス店

平町三丁目

技術精密

吉田紋輔

平町紺屋町

衆議院議員

比佐昌平

衆議院議員

鈴木辰三郎

衆議院議員

佐藤庄太郎

親切な皆様の御相談所

平町庶民金庫

平町二丁目(電話四九三番)

平町公立學校長懇話會

内外科一般、花柳病科

新川町

木村病院

電話一六四番

産科、婦人科、内外科

實川醫院

平町田町(電話二七〇番)

大平藥局

平町一丁目

綿、蒲團

吉村商店

平町研町

乾物商

關勝茂商店

平長橋町

青物果實問屋

廣木正一

平才搔小路

植田町

鳳城炭礦

植田町

大平炭礦

山崎製材所

植田町

植田水力

電氣會社

片岡醫院

植田町

前田醫院

植田町

消防組頭

坂本龜太郎

山口屋旅館

植田町

豊間材

大敷網組合

陽春ノ海豊開ノ海濱ノ風致ハノンビトシテ亦格別デス 磐城豊開海岸

濱屋旅館